

競技注意事項

1. 本大会は2025年日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。
2. 練習は、サブトラックで行う。競技者以外はトラック、フィールド内に入らないこと。但し、危険防止のため投擲種目はサブトラックでは行わない。競技開始40分前より投擲場で練習する。

3. 招集について

- (1) 招集所（本競技場の第4ゲート付近）は設けず、現地での招集・コールとする。
- (2) トラック種目のセパレート種目については、腰ゼッケンを使用しません。800m以上のトラック種目は本競技場中央入口にある腰ゼッケンを、スタート地点に行く前に右腰につけて集合する。
- (3) 招集時間は、競技開始時刻を基準とし、下記の通りとする。

トラック	招集開始 30分前	招集完了 20分前
フィールド	招集開始 40分前	招集完了 30分前

4. 競技について

- (1) 競技者は、出場する種目以外競技場に立ち入ることはできない。
- (2) 短距離種目は、競技者の安全確保の為、ゴール後も自分のレーンを走ること。
- (3) トラック競技はすべて写真判定装置(電機計時1/100)で行う。
- (4) リレーのオーダー用紙は招集完了1時間前までに1部を本部に提出すること。
- (5) アスリートビブスはユニホームの胸背部(跳躍種目は胸背部のどちらか1枚)に確実につけること。

5. バーの上げ方 ※状況によって変更あり

	練習	1	2	3	4
男子走高跳	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65
女子走高跳	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35
棒高跳	2m00	2m00	2m10	2m20	2m30

6. 競技用靴について

スパイクのピンの長さは9mmを超えてはならない。走高跳やり投の場合は12mmを超えてはならない。またこれらのスパイクの直径は先端が4mm以内であること。

7. 競技用具について

やり、円盤については検査を行う。（検査は競技開始時間の1時間前から50分前まで行う）

8. ハードルは次の規格で行う。

(1) 男子60mハードル

高さ 1.067m (一般・高校)

インターバル 13m72-9.14m- 9.72m

(2) 女子60mハードル

高さ 0.84m (一般・高校)

インターバル 13m00-8.50m- 13.00m

(3) 300mHのスタートは400mHと同じとし、記録は手動計時とする。

9. 記録会のフィールド種目は、3回の試技とする。

10. 競技中に発生した障害や疾病については、主催者では応急処置のみで責任は一切負わない。

参加者は必ずスポーツ障害保険に加入すること。

11. その他

- (1) 貴重品は自分の身につけて行動すること。紛失の責任は負いません。
- (2) アイシング用の袋、テーピング、飲み物の空ボトル等のゴミは置き去りにしないよう自分の責任で持ち帰り、環境美化に努めること。
- (3) 新型コロナウイルス感染防止のために、各自で必要な対応をしてください。